

科目名 時間割表記名 看護統合援助(多重課題・看護研究)	看護統合援助	配当時期 単位数 時間数	1単位 30時間(15回)	講義担当者 吉竹あゆ 田中紀代美 (実務経験のある教員)
事前学習内容 複数の受け持ち患者の病態、検査、治療、看護についてレポートにまとめる。 2年次に立案した研究計画書をもとに研究が進められるように、文献検索と実践のための準備を行う。				
授業目標 1. 複数の受持ち患者の看護の優先順位の判断ができる。 2. 複数の受持ち患者への看護実践ができる。 3. 臨地実習での看護をとおして事例研究ができる。				
DPとの関連 DP1. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP2. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。				
授業の流れ				
回	学習内容	方法	備考	
1	1. 複数の受持ち患者の看護過程の展開① 1)情報の整理・解釈	講義 課題学習	テキスト①	
2	2)看護問題の抽出・計画の立案 3)複数の受持ちにおける看護の優先順位の決定	グループワーク	テキスト①	
3	2. 複数の受持ち患者の看護実践①	シミュレーション	テキスト①	
4				
5	3. リフレクション	講義 グループワーク	テキスト①	
6	4. 複数の受持ち患者の看護過程の展開② 1)情報の整理・解釈 2)看護問題の抽出・計画の立案 3)複数受持ちにおける優先順位の決定	課題学習 個人ワーク	テキスト①	
7				
8				
9	5. 技術試験オリエンテーション 6. OSCE: 複数の受持ち患者の看護実践② 1)ブリーフィング 2)シミュレーション 3)デブリーフィング・自己の課題の明確化	オリエンテーション OSCE		
10				
11				
12				
13	【看護研究: ケーススタディ】 臨地実習の受け持ち患者をとおした看護研究の実践	演習	テキスト②③	

回	学習内容	方法	備考
14	研究発表	発表会	テキスト②③
15			
<p>受講上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題に取り組み複数患者対応のシミュレーションを実施し、デブリーフィングで学びを深める。 ○複数の受持ちの患者の看護実践では、事例の事前学習および個人ワークを用いてグループワークを進める。評価は、課題内容とOSCE(ルーブリック)により行う。 ○看護研究は、2年次に立案した研究計画書に基づき、3年次の臨地実習事例でケーススタディを実践する。担当教員の指導を受けながら計画的に取り組む。 			<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート OSCE 研究論文 研究発表
<p>使用するテキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ①複数受持ちの2事例の看護に必要なテキスト ②統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院 ③看護研究に必要なテキストおよび文献 <p>参考文献</p>			